

## 報告書（平成 24 年度）

提出者 岩井八郎

提出年月日 2013 年 3 月 25 日

### 【プロジェクト名】

和文 数量調査によるアジアの家族と社会研究

英文 Quantitative Research Group on Asian Families and Societies

### 【メンバー構成】

研究代表者 岩井八郎

幹事

メンバー 鍛冶致、溝口佑爾、竹内麻貴、柴田悠、貫田優子、伊達平和

### 【活動の記録】

2012 年 5 月 26 日（土）：第 63 回関西社会学会（皇學館大学）において、2 名のメンバーが研究報告をした。両名とも、大会奨励賞を受賞した。

柴田悠「東アジアにおける親子間援助行動の国際比較—EASS-2006 のデータを用いた記述的分析—」

伊達平和「高学歴が家父長制意識に及ぼす影響についての比較社会学—日本・韓国・台湾・中国・ベトナム・タイにおける比較—」

2012 年 11 月 8 日（木）：GCOE International Conference “Social Innovation and Sustainability for the Future” の Special Session, “Comparative Asian Family Survey,” において、岩井、伊達、柴田、竹内の 4 名が報告した。タイトルなどは、当日のプログラムを参照。

2013 年 3 月 20 日（水）、21 日（木）：タイ、チュラロンコン大学、人口学研究部において、International Seminar on

“Seeing Asian Family Changes from Quantitative and Comparative Perspective”

and the Meeting of Comparative Asian Family Survey Project を実施した。岩井八郎、

溝口佑爾、竹内麻貴、柴田悠、伊達平和がそれぞれ研究報告した。詳細については、当日のプログラムを参照。

### 【通信欄】